TN51669⓪

☆ 登録・設置説明書（黄色紙）を先にお読みください。

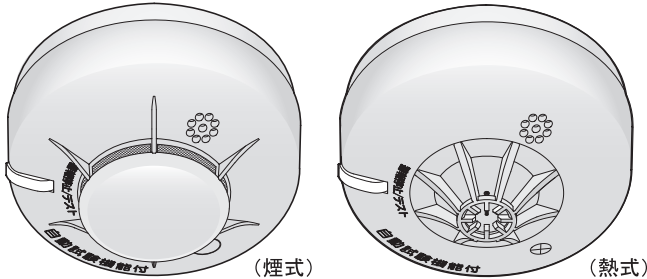
住宅用火災警報器 火無安全
取扱説明書 保証書付 保管用

〔適用機種〕 ㊟警報器本体の側面に記載しています。

・KK－DS26－10M　ワイヤレス連動型 親器 （煙式）
・KK－DS26－10S（J）　ワイヤレス連動型 子器 （煙式）
・KK－DH26－10S　ワイヤレス連動型 子器 （熱式）

国家検定合格品

（煙式）

（熱式）

ワイヤレス連動　音声警報
自動試験機能付　電池式（10年※タイプ）

※使用温度や電波環境などの外部環境や使用条件によって短くなることがあります。

このたびは、マックス製品をお買い上げいただきありがとうございます。

- お取り付けは、黄色紙「登録・設置説明書」にしたがい、正しく設置してください。
- ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、大切に保管してください。
- この商品は 煙 または 熱 を感知して音声警報で知らせる住宅用火災警報器です。
- この商品は消火装置や火災を防止する機器ではありません。

MAX

キリトリ線

保　証　書　持込

型 名	KK－DS26－10M／S（J） KK－DH26－10S
保証期間	お買い上げ日から１年間
お買い上げ日	年　月　日
お客様	ご住所
	お名前　様
	電話
販売店	住所・店名
	電話

MAX マックス株式会社

本社　〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

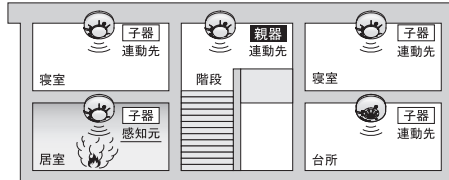
■東　京　TEL (03)-3669-8123 (代)　■大　阪　TEL (06)-4803-1536 (代)
■名古屋　TEL (052)-918-8622 (代)　■福　岡　TEL (092)-411-5418 (代)
■仙　台　TEL (022)-236-4121 (代)

お客様ご相談ダイヤル 0120-228-481
月～金曜日　午前９時～午後５時３０分

●ホームページアドレス：http://www.max-ltd.co.jp

キリトリ線

1．ご使用前に

- 本警報器は消防法に規定された各種の試験に合格した国家検定品です。
  （この商品は住宅用です。消防法に規定された以下の設備には代用できません。「自動火災報知設備」および「特定小規模施設用自動火災報知設備」）
- この商品は電波法で定める技術基準に合格した技術基準適合品です。
- 設置した警報器が煙または熱を感知すると、登録したすべての警報器が連動鳴動して火災をお知らせします。
- 連動台数は、親器１台と子器最大１５台です。必ず親器が必要です。子器は、親器との登録が必要です。
- この製品は１住戸内に設置してください。それ以外の設置の場合は電波異常になるおそれが高くなります。
- **この製品は以下の製品と連動させることが可能です。**
  - 無線式連動型住宅用火災警報器（煙式／熱式） KK-DS24 ／ KK-DH24 シリーズ
    KK-DS25 ／ KK-DH25 シリーズ
    KK-DS26 ／ KK-DH26 シリーズ

㊟非連動型の警報器および他社製品との連動はできません。

- 商品を正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書にはいろいろな注意事項を記載しています。以下の注意表示をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。

⚠注意
取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または警報機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

2．ご使用上の注意

本警報器は、火災で発生する煙または熱を感知して警報する住宅用火災警報器で、消火装置や火災を防止する機器ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠警告

注意

次のような場合は警報に気づかないことがあります。
・薬の服用後または飲酒後に就寝した場合。
・交通、ステレオ、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きい場合。

次のような火災では作動しないことがあります。
・火のまわりの早い火災。　・煙または熱が発生しない火災。
・ガス漏れや薬品による爆発的な火災。

分解禁止

分解・改造の禁止
本警報器は総務省の技術基準適合品です。
技適マーク（〒）を表示された商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
㊟改造すると法律により罰せられることがあります。

禁止

落下などにより衝撃を与えた機器は使用しない。
正常に作動しないおそれがあります。

電池切れ・機器異常・電波異常の警報器は使用しない。
火災時に作動しないおそれがあります。

テストのとき、ライターなどの炎を使用しない。
故障の原因となるばかりでなく、火災の原因になります。

必ず守る

取付ネジや専用リチウム電池の取り扱いは、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
誤飲またはケガのおそれがあります。

高所の操作および作業は、安定した台に乗って行う。
転倒してケガをするおそれがあります。

⚠注意

禁止

殺虫剤や化粧スプレー、タバコなどの煙を直接かけない。
ストーブの近くなど高温環境になる場所に取り付けない。
誤作動の原因および性能に悪影響を及ぼすおそれがあります。

引きひもを取り付けている場合、引きひもを強く引かない。
引きひもがはずれる、または取付状態によっては本体が落下するおそれがあります。

耳を近づけて警報音を聞かない。
聴力障害などの原因となるおそれがあります。

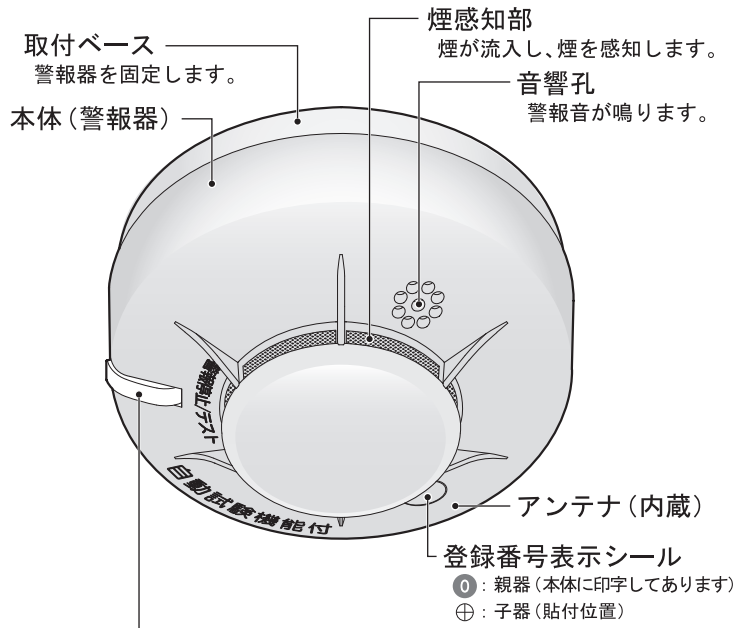
必ず守る

音響孔をテープなどでふさがない。
充分な警報音量が確保できないおそれがあります。

専用リチウム電池のコネクタは確実に接続する。
コネクタ接続が不充分な場合、発熱するおそれがあります。

警報器の移設や家具などの移動後は必ず点検をする。
電波状態が変化し、連動できない場合があります。

3．各部の名称とはたらき

（煙式）**親器** ＫＫ－ＤＳ２６－１０Ｍ／ 子器 ＫＫ－ＤＳ２６－１０Ｓ（Ｊ）

『警報停止／テスト』ボタン 兼 表示灯
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
・警報時や設定時の状態に応じて赤・橙・緑が点滅または点灯します。
（通常時は消灯）

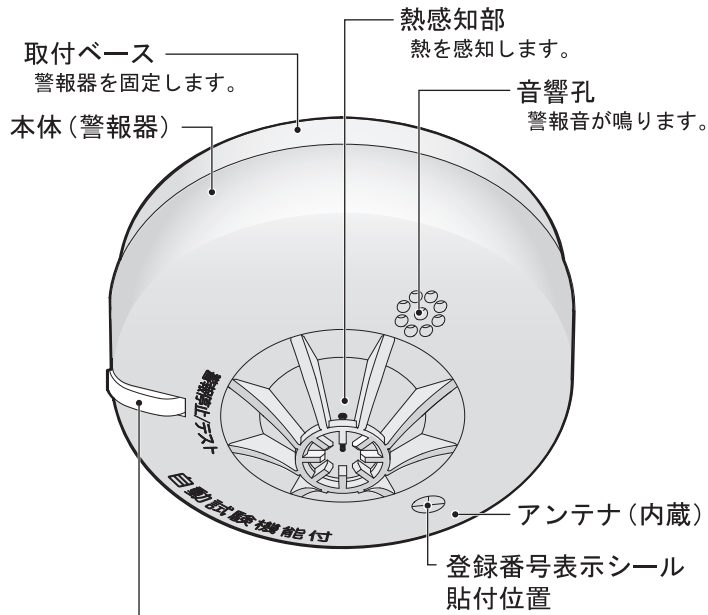
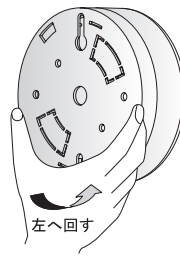
（熱式） 子器 ＫＫ－ＤＨ２６－１０Ｓ

『警報停止／テスト』ボタン 兼 表示灯
警報音を停止させたり、定期点検をするときに使用します。
・警報時や設定時の状態に応じて赤・橙・緑が点滅または点灯します。
（通常時は消灯）

表　各警報音について

警報項目	警報音（音声）	表示灯
火 災	感知元：ピー、ヒュー、ヒュー、火事です、火事です	［赤］連続点滅
	連動先：ピー、ヒュー、ヒュー、○番※、火事です	［橙］連続点滅
電池切れ	ピポッ、電池切れです　（３０分ごとに２回） ピポッ　（１分ごと）	［赤］（１＋４）回点滅 （１分ごと）
機器異常	ピッピッピッ、異常です　（３０分ごとに２回） ピッピッピッ　（１分ごと）	［赤］３回点滅 （１分ごと）
電波異常	ピッピッ、電波異常です　（３０分ごとに２回） ピッピッ　（１分ごと）	［橙］２回点滅 （１分ごと）

※：火災を感知した感知元警報器の登録番号（０番～１５番）を鳴動します。

取付ベースをはずす
本体を押さえ、取付ベースを左に回す。

感知部を持ってはずさない。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

消去ボタン
登録を消去するときに使用します。

登録ボタン
登録操作時に使用します。

周波数設定用スイッチ
周波数チャンネルの設定に使用します。
㊟出荷時はＣＨ１に設定（図と同じ）

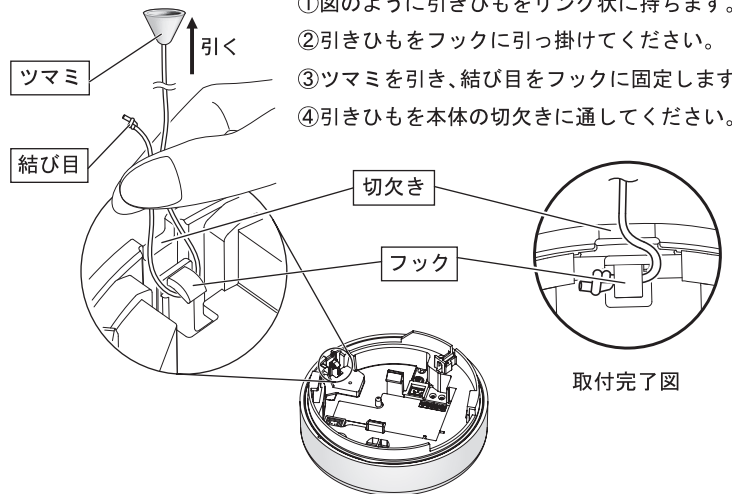
㊟周波数設定、登録、消去など設定および取付方法については、
別添する黄色紙【登録・設置説明書】を参照ください。

引きひもの取付方法

適合ひも	市販の照明用スイッチひもなど（太さφ0.7～1.4㎜程度）

●引きひもを本体に取り付ける前に、先端を仲仕（なかし）結びしてください。（図を参照）

①図のように引きひもをリング状に持ちます。
②引きひもをフックに引っ掛けてください。
③ツマミを引き、結び目をフックに固定します。
④引きひもを本体の切欠きに通してください。

取付完了図

注意
引きひもを取り付けるとき、フックが引かれて
警報音やテスト音声が鳴ることがあるので注意する。（監視状態の場合）

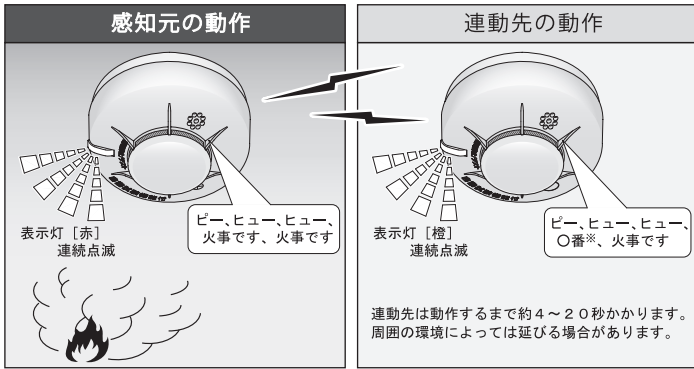
禁止
引きひもを強く引かない。
引きひもがはずれる、または取付状態によっては本体が落下するおそれがあります。

必ず守る
引きひもは本体の切欠きに確実に通す。
ボタンの操作ができなくなるおそれがあります。

4．使用方法（各警報について）

火災警報

煙または熱を感知すると、次のような警報音と表示灯が連続点滅してお知らせします。

感知元の動作	連動先の動作

※火災を感知した感知元警報器の登録番号（０番～１５番）を鳴動します。
㊟複数の警報器が火災を感知している場合、連動先は先に火災を感知した警報器の登録番号を鳴動します。

部屋ごとに設置した警報器の番号を覚えておくと、火災時に火元の場所がわかります。

火災のとき

感知元（火元）を確認し、１１９番へ通報するなど適切な対処をしてください。
警報を発してから約５分後に煙または熱がない場合は自動的に警報を停止します。

火災でないとき

火災以外でも次のような場合は警報動作をすることがあります。
警報音を停止し、換気をするなどして警報の要因を取り除いてください。

<煙式の場合>

・くん煙式または加熱蒸散式殺虫剤を使用した場合
・スプレー式殺虫剤や化粧スプレーなどが直接かかった場合
・タバコの煙を直接吹きかけた場合
・調理の煙や水蒸気などがかかった場合
・線香や蚊取り線香などの煙を大量に発生させた場合
・その他火災でない大量の煙やダストがかかった場合

<熱式の場合>

・ストーブの直上など６０℃以上の熱を感知した場合

火災警報音を停止するには

感知元で停止したとき

- 『警報停止／テスト』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と約５分間すべての警報器の警報音が停止します。（連動先は直ぐに停止しません。）
- 警報音停止中は感知元警報器の表示灯［赤］がゆっくり点滅し続けます。
- 約５分経過後も感知元が煙または熱を感知している場合は、すべての警報器が再鳴動します。
- ５分間の警報音停止中に連動先のいずれかの警報器が煙または熱を感知した場合は、感知元は感知元動作、連動先は連動先動作で再鳴動します。

連動先で停止したとき

- 『警報停止／テスト』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と約５分間連動先すべての警報器の警報音が停止します。
  ㊟連動先で感知元（火元）の火災警報音は停止できません。
- 約５分経過後、感知元（火元）が火災警報動作を継続している場合は、再度連動先すべてが連動警報音を再鳴動します。
- 連動先の火災警報音停止中に、連動先のいずれかの警報器が煙または熱を感知した場合は、感知元は感知元動作、連動先は連動先動作で再鳴動します。

⚠ 注意

（煙・熱）感知部に“煙”または“熱”が残っている場合は約５分後に再び火災警報音が鳴ります。
部屋の換気などを行い、要因を取り除くことにより約５分後に火災警報は自動的に止まります。

くん煙式または加熱蒸散式殺虫剤を使用する場合（煙式）

煙式の警報器を設置した部屋や近くで、くん煙式または加熱蒸散式の殺虫剤を使用すると作動（誤作動）する場合があるため、本体部を取りはずして殺虫剤がかからない場所に一時的に退避してください。
使用後、換気をして必ず元の状態に戻し、テストを行ってください。テスト方法は、**５．定期点検のしかた（テスト）** を参照ください。

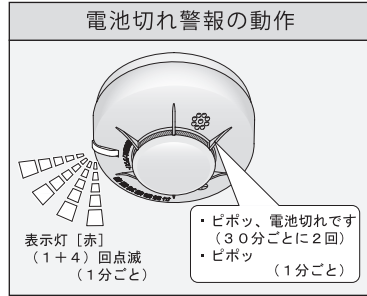
殺虫剤

禁止

火災以外で警報が鳴っても、警報器本体や電池をはずさない。
その後の監視ができなくなり、火災を感知してお知らせすることができません。

電池切れ警報

専用リチウム電池の電池電圧が低下して電池の寿命が近づくと、次のような警報音と表示灯［赤］が約１分ごとに（１＋４）回点滅してお知らせします。

電池切れ警報の動作

電池切れが発生したら

- すみやかに新しい警報器と交換してください。

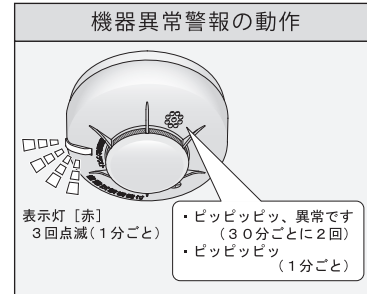
㊟子器を交換する場合は、子器の登録を消去し、新しい子器を親器に登録してください。（黄色紙【登録・設置説明書】を参照ください。）
㊟親器を交換する場合は、新しい親器に設置しているすべての子器を登録してください。（黄色紙【登録・設置説明書】を参照ください。）
㊟電池切れ警報は連動しません。

電池切れ警報音を停止するには

- 『警報停止／テスト』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と音声で電池切れをお知らせし、約２４時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯［赤］が１０秒ごとに１回点滅します。
- 警報音停止操作をするごとに音声で電池切れをお知らせし、最後の操作から約２４時間警報音を停止します。

機器異常警報

煙感知部または熱感知部の自動試験を行い、正常に火災を感知できなくなった場合、次のような警報音と表示灯［赤］が約１分ごとに３回点滅してお知らせします。

機器異常警報の動作

機器異常が発生したら

- すみやかに新しい警報器と交換してください。

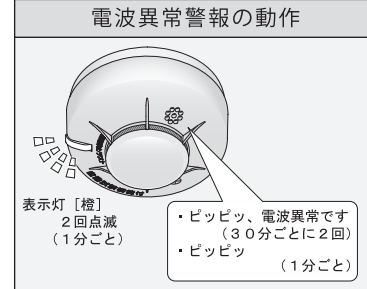
㊟子器を交換する場合は、子器の登録を消去し、新しい子器を親器に登録してください。（黄色紙【登録・設置説明書】を参照ください。）
㊟親器を交換する場合は、新しい親器に設置しているすべての子器を登録してください。（黄色紙【登録・設置説明書】を参照ください。）
㊟機器異常警報は連動しません。

機器異常警報音を停止するには

- 『警報停止／テスト』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と音声で機器異常をお知らせし、約２４時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯［赤］が１０秒ごとに３回点滅します。
- 警報音停止操作をするごとに音声で機器異常をお知らせし、最後の操作から約２４時間警報音を停止します。

電波異常警報

親器 ⇔ 子器間の電波状態を、子器は１日周期、親器は２日周期で定期的に送信して試験し、電波状態に異常があった場合、次のような警報音と表示灯［橙］が約１分ごとに２回点滅してお知らせします。

電波異常警報の動作

電波異常が発生したら

- ５項の **①単独テスト** を参照し、電波異常警報中の警報器をテストのうえ、**対処方法** にしたがい、適切に処置してください。

㊟処置後は該当する子器をテストし、正常に動作することを確認してください。
㊟電波異常警報は連動しません。

電波異常警報音を停止するには

- 親器の場合『警報停止／テスト』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と音声で電波異常をお知らせし、約２４時間警報音が停止します。
- 子器の場合『警報停止／テスト』ボタンを押す（引きひもがある場合は引く）と電波試験を行い、電波異常が継続中の場合は、音声で電波異常をお知らせし、約２４時間警報音が停止します。電波異常でなくなっている場合は、火災警報が鳴動し、正常に復旧します。
- 警報音停止中は、表示灯［橙］が１０秒ごとに２回点滅します。
- 電波異常が継続中の場合は、警報音停止操作をするごとに単独テストの後音声で電波異常をお知らせし、最後の操作から約２４時間警報音を停止します。

警報器は１０年で交換

１０年を超えて使用すると、汚れなどの影響により火災の感知が遅れる場合があります。設置後１０年経過後は、すみやかに新しい警報器と交換してください。

注意

各警報の優先順位

複数の条件に該当している場合は、優先順位の高い警報を鳴動します。

①火災警報
②機器異常警報
③電池切れ警報
④電波異常警報

5．定期点検のしかた（テスト）

正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

外観を確認する　*（推奨点検頻度：１２ヶ月に１回以上）*

煙感知部および熱感知部にホコリなど異物が付着していないか確認してください。

●ホコリやクモの巣などの異物が感知部および周辺に付着している場合は、掃除機で取り除いてください。そのままの状態で使用すると火災の感知が遅くなったり、感知できない場合があるほか、誤作動の原因にもなります。

機能を確認する

機能確認には、２つのテストがあります。

①単独テスト（単独でテストして警報器の機能を確認する）
②連動テスト（登録しているすべての機器を連動させて連動機能を確認する）

① 単独テスト　*（推奨点検頻度：１ヶ月に１回、または、３日以上留守にされたとき）*

すべての警報器を以下の要領でテストしてください。
テスト結果が正常以外の場合は 対処方法 にしたがって対処してください。

●『警報停止／テスト』ボタンを短押しする。〔２秒未満〕
（引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。）
●操作音が「ピピ」と鳴り、表示灯［緑］が点灯してテストを開始します。

短押しする
〔２秒未満〕

親器 をテストしたとき

●テスト結果は、0番（親器番号）または00（親器未登録）を鳴動してから報知します。
●電波異常のときは、通信ができなかった△番（子器登録番号）を報知します。

結 果	警報音（音声）	表示灯	対処 No.
正 常	○○、ピー、ヒュー、ヒュー、火事です、火事です	［赤］連続点滅	——
電池切れ	○○、ピポッ、電池切れです	［赤］１回点滅 （ピポッに同期）	1
機器異常	○○、ピッピッピッ、異常です	［赤］３回点滅 （ピッピッピッに同期）	2
電波異常	0番、ピッピッ、電波異常です、△番･･･	［赤］２回点滅 （ピッピッに同期）	3
未登録	上記の「○○」部分を“00”と鳴動	上記いずれか	5
通信処理中など	ピピピピ	消 灯	7
故障など	無　音	無 灯	8

○○部の内容 — 親器番号：0番
　　　　　　　　親器未登録：００
△部の内容 — 子器登録番号：１～１５の電波異常機器すべて
（イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュウ、ジュウ
ジュウイチ、ジュウニ、ジュウサン、ジュウヨン、ジュウゴ）

子器 をテストしたとき

●テスト結果は、子器登録番号または99（子器未登録）を鳴動してから報知します。
（正常および電波異常の場合は、報知に **約２０秒** かかります。）
●電波異常のときは、通信ができない0番（親器番号）を報知します。

結 果	警報音（音声）	表示灯	対処 No.
正 常	○○＿ピー、ヒュー、ヒュー、火事です、火事です	［赤］連続点滅	——
電池切れ	○○、ピポッ、電池切れです	［赤］１回点滅 （ピポッに同期）	1
機器異常	○○、ピッピッピッ、異常です	［赤］３回点滅 （ピッピッピッに同期）	2
電波異常	△番＿ピッピッ、電波異常です、0番	［＊］２回点滅 （ピッピッに同期）	4
未登録	上記の「○○」部分を“99”と鳴動	上記いずれか	6
通信処理中など	ピピピピ	消 灯	7
故障など	無　音	無 灯	8

○○部の内容 — 子器登録番号：１番～１５番のいずれかテストをした機器
（イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュウ、ジュウ
ジュウイチ、ジュウニ、ジュウサン、ジュウヨン、ジュウゴ）
　　　　　　　　子器未登録：９９
△部の内容 — 子器登録番号１～１５のいずれかテストをした機器
＊部の色 — 赤：親器からの電波が届かないか、受けられません。
　　　　　　橙：周りに連動に支障をきたす電波が存在しています。
　　　　　　緑：親器から届く電波が弱く連動しにくい状態です。

㊟正常および電波異常時の“＿”部は、**約２０秒間**の無音状態が継続します。

注意

警報器は１０年で交換
１０年を超えて使用すると、汚れなどの影響により火災の感知が遅れる場合があります。設置後１０年経過後は、すみやかに新しい警報器と交換してください。

単独テストにおける結果報知の優先順位
複数の条件に該当している場合は、優先順位の高い点検結果を報知します。

優先順位　高い
①機器異常
②電池切れ
③通信処理中など
④電波異常
⑤正常
低い

対処方法

単独テストを行い、テスト結果が正常以外の場合は、結果の対処No.より下表を参照のうえ、適切に対処してください。

対処 No.	対処方法
1	**電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。** すみやかに新しい警報器と交換してください。
2	**機器異常により火災を感知できません。** すみやかに新しい警報器に交換してください。
3	**子器との通信ができていません。** 該当する子器をテストしてください。 ●結果が正常　⇒　そのまま使用してください。 ●結果が電波異常　⇒　4 にしたがってください。
4	**親器との通信ができないか、弱電波です。** 表示灯色にあわせた以下の処置後、再度テストをしてください。 ●［赤］：親器が監視状態であること、また周波数設定が正しいことを確認のうえ、周りの家電品やＯＡ機器を移動し、再度単独テストをしてください。 改善しない場合は、すべての周波数チャンネル設定を変更してください。 ●［橙］：しばらくしてから再度単独テストをしてください。 頻繁に起きる場合は、すべての周波数チャンネル設定を変更してください。 ●［緑］：該当子器の取付位置を移動してください。 ㊟設定や取り付けの方法は、黄色紙【登録･設置説明書】を参照ください。
5	**子器未登録の親器です。** 子器の登録をしてください。 ㊟登録の方法は、黄色紙【登録･設置説明書】を参照ください。
6	**親器に未登録の子器です。** 親器に登録をしてください。 ㊟登録の方法は、黄色紙【登録･設置説明書】を参照ください。
7	**テストが正常にできませんでした。** しばらくしてから再度テストをしてください。
8	**電池がはずれているか、故障している可能性があります。** 電池コネクタがはずれていたり、ゆるんでいる場合はコネクタをしっかり挿入してください。コネクタ部に問題がない場合は、販売店または「お客様ご相談ダイヤル」にご相談のうえ、すみやかに新しい警報器に交換してください。

② 連動テスト　*（推奨点検頻度：１２ヶ月に１回）*

連動登録しているうちのどれか１台を以下の要領で操作しテストしてください。

●『警報停止／テスト』ボタンを長押しする。〔２秒以上〕
（引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。）
●操作音が「ピピ」､「ピ」と鳴り、下記の動作をします。

長押しする
〔２秒以上〕

<正常時>

操作元の表示灯［緑］が点灯し、約４～２０秒後※に連動登録したすべての警報器が火災警報を鳴動します。
※周囲の環境によっては延びる場合があります。

	警報音（音声）	表示灯
操作元	ピー、ヒュー、ヒュー、火事です、火事です （３回繰り返し）	［赤］連続点滅
連動先	ピー、ヒュー、ヒュー、○○※、火事です （３回繰り返し）	［橙］連続点滅

※操作元警報器の登録番号（０番～１５番）を鳴動します。
㊟電池切れ警報時および機器異常警報時でも火災警報を鳴動して連動確認ができます。
㊟電波異常警報を発している機器でも他の機器と連動する場合があります。

<操作元警報器が未登録の場合>

操作元が未登録機器である場合は、連動テストができません。
黄色紙【登録･設置説明書】を参照のうえ、登録作業をしてください。

	警報音（音声）	表示灯
操作元	子器未登録の親器：00、ピピピピ 親器未登録の子器：99、ピピピピ	消 灯
連動先	無 音（無反応）	無 灯（無反応）

<通信処理中などの場合>

	警報音（音声）	表示灯
操作元	ピピピピ	消 灯
連動先	無 音（無反応）	無 灯（無反応）

㊟テストが正常にできませんでした。しばらくしてから再度連動テストをしてください。

注意

連動テストはすべての警報器が火災警報を鳴動します。
連動テストをするときは、周囲の迷惑にならないよう夜間を避けてください。

連動テストは連動機能のみを確認しています。
連動テストは連動確認をすることができますが、機器の状態（電池切れ・機器異常）などを確認することはできませんので、必ず定期的に単独テストを行ってください。
いざというとき火災を感知できないおそれがあります。

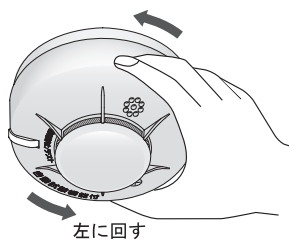
６．お手入れ方法

１２ヶ月に１回程度、警報器の掃除を行ってください。
掃除をする際は、本体を取りはずしてから行ってください。

①本体を取りはずす

警報器本体を設置面に軽く押しつけながら、左に回してください。
（取付ベースは設置面に残してください。）

㊟壁に掛けて使用されている場合は、
取付ベースごとはずしてください。

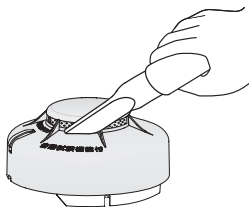
必ず守る

感知部を持ってはずさない。
故障して火災を感知できなくなるおそれがあります。

②お手入れをする

注意

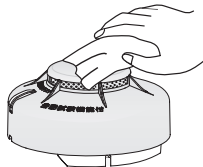
警報音が鳴ることがあります。
『警報停止／テスト』ボタンに触れてボタンが押されると、お手入れ中の機器や連動登録している機器の警報音が鳴りますので､なるべく『警報停止／テスト』ボタンに触れないよう注意して作業してください。

ホコリを取るとき

煙式の本体および感知部にホコリがたい積していたら、掃除機で吸い取ってください。
その際、感知部に掃除機の先があたらないよう注意してください。
また、掃除機が吸引しているときは、掃除機の吸込口を音響孔に近づけないでください。

注意

ホコリを吹き飛ばさない。
ホコリを吹き飛ばしたり、払い飛ばすと煙感知部の内部にホコリが入り、誤作動のほか、正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

汚れを拭き取るとき

本体が汚れたら、布を水または中性洗剤に浸し、充分に絞ってから拭き取ってください。
その際、煙および熱感知部に触れないよう注意してください。

分解禁止

分解の禁止
機器内部は精密に調整されていますので分解しないでください。正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

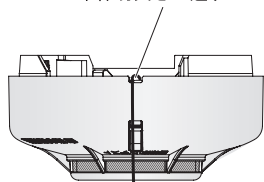
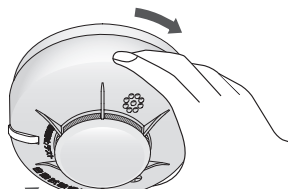
禁止

水洗いの禁止
内部に水が入らないよう気をつけてください。正常に火災を感知できなくなるおそれがあります。

薬品の使用禁止
ベンジン・シンナーやアルコールなどの化学薬品で拭き取らないでください。樹脂が変形したり劣化して割れることがあります。

③もとに戻す（お手入れ後）

お手入れ後は、本体をもとに戻して単独テスト（機能確認）してください。
⇒ ５．定期点検のしかた（テスト） を参照

- ●本体表面が乾いてから取り付けてください。
- ●電池のコネクタがしっかり挿入されていることを確認してください。
- ●煙または熱感知部にホコリやクモの巣などがないことを確認してください。
- ●本体は、もとの取付場所（部屋）に取り付けてください。
（異なる場所に取り付けた場合、連動動作ができないことがあります。）
- ●引きひもがある場合は、ひもを本体切欠きに確実に通してください。

７．故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、下表の対処をしてください。

下表のとおりに対処をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店に連絡するか、「お客様ご相談ダイヤル」にお問い合わせください。

症 状	原 因	対 処
火災ではないのに火災警報動作をする。	調理の煙や湯気、ホコリ、殺虫剤などが煙式警報器にかかっていませんか？	警報音を停止し、室内を換気してください。
	調理の熱、ストーブやコンロの熱、直射日光などの熱が熱式警報器にあたっていませんか？	警報音を停止し、警報器周辺の熱が下がるまでお待ちください。
	煙感知部に煙やホコリなどの要因が滞留していませんか？	警報音を停止し、煙感知部の煙をうちわなどであおぐか、ホコリを掃除機で吸って取り除いてください。
	熱感知部付近に熱が滞留していませんか？	警報音を停止し、熱感知部の熱をうちわなどであおぎ要因を取り除いてください。
火災警報動作をしない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、しっかり挿入されていない状態ではありませんか？	コネクタをしっかり挿入してください。
	専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ ［電池切れ警報］が鳴っていませんでしたか？	新しい警報器と交換してください。
	火災警報音停止操作をしませんでしたか？ 表示灯［ 赤 ］がゆっくり点滅していませんか？	火災警報音の停止操作後５分間は、煙または熱を感知しても警報音は鳴動しません。ボタンまたは引きひもを操作すると「ピピ」と鳴ります。
	煙感知部にホコリなどが付着し、目詰まりしていませんか？	ホコリなどの付着物を掃除機で吸い取ってください。
約１分間隔で「ピポッ」と鳴り、表示灯［赤］が（１＋４）回点滅する。	［電池切れ警報］ 電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。	新しい警報器と交換してください。
約10秒間隔で表示灯［赤］が１回点滅する。	［電池切れ警報］の警報音を停止中です。	
約１分間隔で「ピッピッピッ」と鳴り、表示灯［赤］が３回点滅する。	［機器異常警報］ 機器異常により火災を正常に感知できません。	
約10秒間隔で表示灯［赤］が３回点滅する。	［機器異常警報］の警報音を停止中です。	
約１分間隔で「ピッピッ」と鳴り、表示灯［橙］が２回点滅する。	［電波異常警報］ 電波異常により通信が正常にできません。	単独テストをしてください。 **<親器の場合>** 結果で鳴動した電波異常子器をテストしてください。 **<子器の場合>** 表示灯が［赤］or［橙］or［緑］で２回点滅しますので、状態にあわせて対処してください。 ⇒５項の 対処方法 対処No. 4 参照
約10秒間隔で表示灯［橙］が２回点滅する。	［電波異常警報］の警報音を停止中です。	
テストすると「ピピ」としか鳴らない。	火災警報音を停止中です。	約５分経過後、再度テストしてください。
テストしても何も音が鳴らない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、しっかり挿入されていない状態ではありませんか？	コネクタをしっかり挿入してください。
	専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ ［電池切れ警報］が鳴っていませんでしたか？	新しい警報器と交換してください。
親器・子器をテストすると「ピピピピ」と鳴動する。	内部処理中のため、テストが起動できませんでした。	しばらくしてから再度テストをしてください。

症 状	原 因	対 処
親器をテストすると「00～」(ゼロゼロ)と鳴動する。	子器未登録の親器です。	子器の登録をしてください。 ⇒黄色紙【登録・設置説明書】参照
子器をテストすると「99～」(キュウキュウ)と鳴動する。	親器に未登録の子器です。	親器に登録をしてください。 ⇒黄色紙【登録・設置説明書】参照

症状確認メモ

8．アフターサービス

1．保証書

保証書はこの取扱説明書に付いています。お買い上げの販売店で所定事項(販売店、お買い上げ日)の記入内容をご確認いただき、大切に保管してください。

2．保証期間

保証期間はお買い上げ日から１年間です。
この取扱説明書の 7．故障かな？と思ったら にしたがって確認していただき、異常のあるときは、機器を分解せずにお買い上げの販売店にお申しつけください。
保証書の保証規定により対応いたします。

3．お問い合わせされる場合

機器についてご不明な点がありましたら、「お客様ご相談ダイヤル」にご連絡ください。
その際、下記のリストにメモされてからご相談くださるようお願いいたします。

項 目	お客様ご記入欄	備 考
型 名		警報器本体の側面に記載 例）KK-DS26-10S
製造年	年製	電池収納部の製造銘板に記載 例）2014 年製
製 番		電池収納部の製造銘板に記載
設置年月	年 月	本体側面に記入した年月
設置場所		寝室の壁面など
お買い上げ日	年 月 日	保証書などを参照
販売店名		保証書などを参照
症 状		7．故障かな？と思ったら を確認し、なるべく詳細に

4．アフターサービスについてのお問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点、およびその他お問い合わせは、お買い上げ販売店、または「お客様ご相談ダイヤル」にお問い合わせください。

9．廃棄について

●警報器や電池を廃棄する場合は、分解したり加圧変形させず、市町村により定められたルールに従って廃棄してください。(付属の電池は水銀を含みません。)

●電池を廃棄する場合は、電池の保護フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻いてください。また、金属片など導通性のあるものと一緒に廃棄しないでください。絶縁状態にせずに廃棄すると電池がショートし、発火、破裂の原因となります。

10．仕 様

型 名※1	KK-DS26-10M 親器	KK-DS26-10S(J) 子器	KK-DH26-10S 子器
種 別	住宅用防災警報器 煙式（光電式 ２種） 無線式連動型、 自動試験機能付		住宅用防災警報器 熱式（定温式） 無線式連動型、 自動試験機能付
国家検定 型式番号	住警第 26 ～ 21 号	住警第 26 ～ 22 号	住警第 26 ～ 23 号
〒認証番号	001-A02164		001-A02165
定 格	DC3V 400mA		
電 源	専用リチウム電池〔公称電圧：DC3V〕 CR17335E-N-2-CN1		
電池寿命	約 10 年※2（機器交換の目安）		
警報音量	1m にて 70dB 以上（検定規格）		
使用周波数 (周波数設定用スイッチで設定)	CH1：426.7125MHz（出荷時設定） CH2：426.7375MHz CH3：426.8125MHz CH4：426.8375MHz		
送信出力	10mW		
電波到達距離	約 100m※3（親器⇔子器間）		
連動台数	最大 16 台※4（親器：1 台 ＋ 子器：15 台）		
連動可能機種	無線式連動型住宅用火災警報器 KK-DS24/KK-DH24 シリーズ KK-DS25/KK-DH25 シリーズ KK-DS26/KK-DH26 シリーズ		
外形寸法 (取付ベース含む)	約φ98mm× 約 50mm		約φ98mm× 約 53mm
質 量 (電池含む)	約 160g		約 150g
主 材	難燃性 ABS 樹脂		難燃性 PC 系樹脂
使用温度範囲	0 ～ 40℃（結露しないこと）		
取付場所	天井面・壁面 兼用		

※1：型名の末尾に「J」が付くものはカラーがライトブラウン、付かないものはカラーがナチュラルホワイトです。
※2：電池寿命は、使用温度や電波環境などの外部環境や使用条件によって短くなることがあります。
※3：電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離が約 100m です。使用場所の環境や住宅の構造・建材などにより電波到達距離は短くなります。
※4：必ず親器が１台必要です。親器を２台以上設置することはできません。

キリトリ線

11．保証規定

1．保証期間は、お買い上げ日から１年間です。
2．取扱説明書および登録・設置説明書に記載している注意に従った正常なご使用状態において、保証期間内に故障した場合は、無償交換させていただきます。
　(イ) 無償交換のご依頼は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
　(ロ) お買い上げの販売店にご依頼できない場合には、「お客様ご相談ダイヤル」にご相談ください。
　(ハ) この商品は持込修理（交換）の対象商品です。郵送などで修理（交換）依頼された場合の送料などは、お客様の負担となります。
3．保証期間内においても、次のような場合には有償とさせていただきます。
　(イ) 取扱上及び使用上の誤りによる故障及び損傷
　(ロ) 不当な改造や修理による故障及び損傷
　(ハ) お買い上げ後の輸送、移動、衝撃、落下等による故障及び損傷
　(ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害や異常電波及び電磁波等による故障及び損傷
　(ホ) 車両、船舶等に搭載して使用された場合に生じた故障及び損傷
　(ヘ) 業務用など一般家庭用以外に使用されて生じた故障及び損傷
　(ト) 油汚れ等による機器の機能劣化
　(チ) 取付場所が不適切で、調理の煙・湯気・油煙等、住戸環境による警報により電池が消耗した場合
　(リ) 本書のご提示がない場合
　(ヌ) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
　(ル) 出張サービスをご要望された場合の出張に要する費用
4．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
5．本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

キリトリ線

○お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無償交換対応のほか、アフターサービスおよび各種サービスに関する連絡ならびにお客様個人が特定されない形での統計上の目的のために使用させていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。

TN51669⓪